

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成20年7月17日(2008.7.17)

【公開番号】特開2006-352655(P2006-352655A)

【公開日】平成18年12月28日(2006.12.28)

【年通号数】公開・登録公報2006-051

【出願番号】特願2005-177962(P2005-177962)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/76 (2006.01)

H 0 4 N 5/93 (2006.01)

G 1 1 B 27/10 (2006.01)

H 0 4 N 5/783 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/76 B

H 0 4 N 5/76 E

H 0 4 N 5/93 Z

G 1 1 B 27/10 E

H 0 4 N 5/783 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月2日(2008.6.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

通常再生用の画像データとサーチ再生用のサーチ画像データとが記録された記録媒体からデータを再生する画像再生装置において、

前記記録媒体から前記画像データと前記サーチ画像データとを含むデータを再生する再生手段と、

前記再生手段により再生されたデータに含まれる前記画像データを正方向一倍速で通常再生するときに、前記再生されたデータに含まれる前記サーチ画像データを抽出して記憶する記憶手段と、

前記記憶手段に記憶されたサーチ画像データを用いて、縮小画像を並べたインデックス画像データを生成するインデックス画像生成手段と、

前記通常再生された前記画像データに係る表示画像と、前記インデックス画像生成手段で生成された前記インデックス画像データに係る表示画像とを選択的にモニタに表示させる選択手段とを備えたことを特徴とする画像再生装置。

【請求項 2】

前記インデックス画像生成手段は、前記再生手段により再生されたデータに含まれるタイムコードが示す値に応じた順番で前記縮小画像を並べて、前記インデックス画像データを生成することを特徴とする請求項 1 に記載の画像再生装置。

【請求項 3】

前記インデックス画像生成手段は、複数の前記縮小画像とともに、当該複数の縮小画像のうち選択された画像を示す情報と、当該選択された画像に関する印刷設定の情報とを含む前記インデックス画像データを生成することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の画像再生装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１１】

上記課題を解決するために、本発明の画像再生装置は、通常再生用の画像データとサーチ再生用のサーチ画像データとが記録された記録媒体からデータを再生する画像再生装置において、前記記録媒体から前記画像データと前記サーチ画像データとを含むデータを再生する再生手段と、前記再生手段により再生されたデータに含まれる前記画像データを正方向一倍速で通常再生するときに、前記再生されたデータに含まれる前記サーチ画像データを抽出して記憶する記憶手段と、前記記憶手段に記憶されたサーチ画像データを用いて、縮小画像を並べたインデックス画像データを生成するインデックス画像生成手段と、前記通常再生された前記画像データに係る表示画像と、前記インデックス画像生成手段で生成された前記インデックス画像データに係る表示画像とを選択的にモニタに表示させる選択手段とを備えたことを特徴とする。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１２】

本発明によれば、モニタに表示される再生画像として、通常再生された画像と、インデックス画像とで、ユーザーが任意に選択できるようになる。また、通常再生時に再生されたサーチ画像データを用いてインデックス画像を生成可能としたことにより、効率的にインデックス画像を生成できるようになる。